2026 年 9 月 18 日

ALPS 処理水海域モニタリング測定結果
海水調査（トリチウム及びガンマ線核種（速報））（2026 年 9 月 11 日分）

1. 調査概要

(1) 試料採取期間

2026 年 9 月 11 日

(2) 調査地点

トリチウム：福島県沿岸の７測点

※　基本的に表層の試料を採取し、最も放水口に近い測点（E-S10）については表層に加えて底層の試料を採取している。

ガンマ線核種：福島県沿岸の３測点

(3) 調査内容

・海水の放射性物質濃度（トリチウム及びガンマ線核種（速報））の測定

トリチウム：検出下限目標値を 10 Bq/L として実施。

ガンマ線核種：セシウム 137 の検出下限目標値が 1 Bq/L となる条件で、幅広くガンマ線核種を測定。

※１　検出下限目標値とは、「この値までは確実に検出できる状態を確保する」ために、分析の精度管理上あらかじめ設定する基準値のことである。実際に算出される検出下限値は試料ごとに異なるが、通常はこの目標値と同等か、あるいはそれより低い値となる。

※２　ガンマ線核種とは、ガンマ線を放出する放射性同位元素のことをいい、例としてセシウム 137、セシウム 134、コバルト 60、ルテニウム 106、アンチモン 125 等がある。ガンマ線は電磁波の一種であり、試料のスペクトル（波長の成分）を測定することで幅広い核種を検出することが可能な分析を実施している。

2. 結果概要

(1) 海水調査（トリチウム：７測点（８試料））

海水のトリチウムは、全て検出下限値未満であった。

(2) 海水調査（ガンマ線核種：３測点（３試料））

海水のガンマ線核種は、全て検出下限値未満であった。

（詳細別紙）

（地図別添）

＜問い合わせ先＞

環境省水・大気環境局海洋環境課

直　　通：03-5521-8306

代　　表：03-3581-3351

別紙

海水中のトリチウム分析結果

測点	採取日	採取層	採取深度（m）	核種	放射能濃度※1,※2	単位
E-S3	2026/09/11	表層	1.5	H-3	＜ 7	Bq/L
E-S10	2026/09/11	表層	1.5	H-3	＜ 7	Bq/L
E-S10	2026/09/11	底層	12.2	H-3	＜ 7	Bq/L
E-S15	2026/09/11	表層	1.5	H-3	＜ 7	Bq/L
E-S30	2026/09/11	表層	1.5	H-3	＜ 7	Bq/L
E-S31	2026/09/11	表層	1.5	H-3	＜ 7	Bq/L
E-S35	2026/09/11	表層	1.5	H-3	＜ 7	Bq/L
E-S36	2026/09/11	表層	1.5	H-3	＜ 7	Bq/L

※1　放射能濃度の表記は、「放射能濃度±合成標準不確かさ」である。

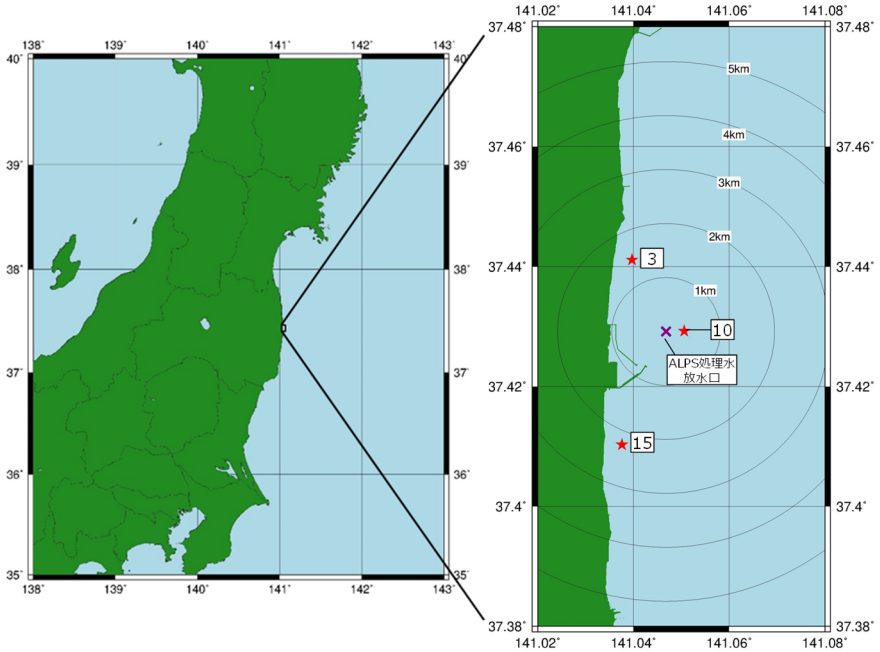
※2　検出下限値未満の場合は検出下限値を示した（例：「＜ 10 Bq/L」と表記している場合、10 Bq/L 未満であることを示す）。

海水中のガンマ線核種分析結果

測点	採取日	採取層	採取深度（m）	核種	結果
E-S3	2026/09/11	表層	1.5	ガンマ線核種	全て検出下限値未満であった。
E-S10	2026/09/11	表層	1.5	ガンマ線核種	全て検出下限値未満であった。
E-S15	2026/09/11	表層	1.5	ガンマ線核種	全て検出下限値未満であった。

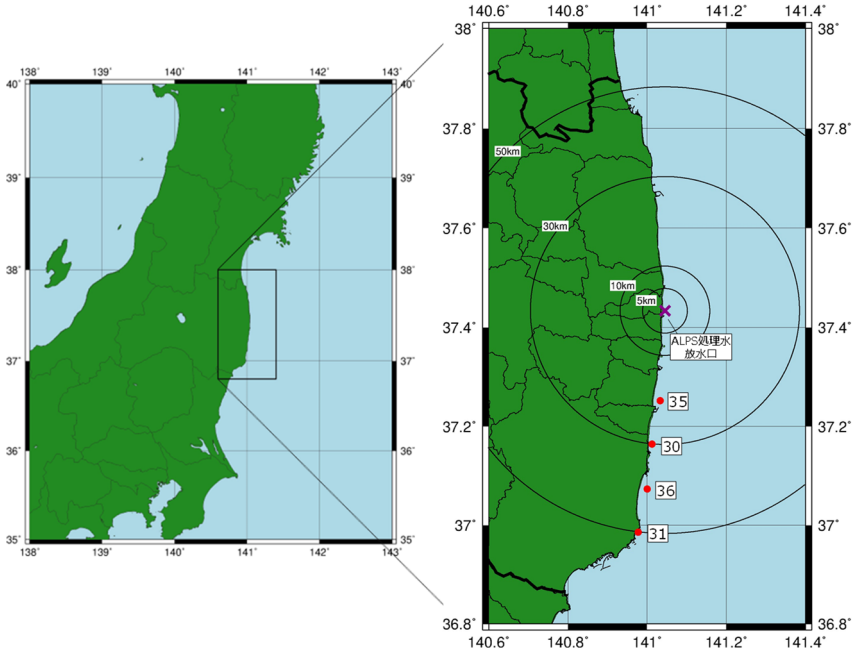
※　セシウム 137 の検出下限目標値が 1 Bq/L となる条件で、他の核種についても検出下限値を設定。

（別添）



※地図中の番号は当該回の調査地点を示し、「E-S」を省略して表記（例 E-S3→3）

図 1　ALPS 処理水放水口から 5 km 圏内の測点



※地図中の番号は当該回の調査地点を示し、「E-S」を省略して表記（例 E-S30→30）

図 2　ALPS 処理水放水口から 5 km 圏外の測点